

地域での農地維持活動の推進

都市的地域

ながつか 25. 永塚環境保全会（神奈川県小田原市）

- 本地区は、足柄平野のほぼ中央を流れる酒匂川の左岸地帯に位置し、昔から、豊富で清らかな水を利用した水稻栽培が、盛んに行われている。
- 酒匂川左岸土地改良区が中心となり活動組織を立ち上げたことを契機に、地元の農業者が連携し、草刈や清掃作業にも構成員のほぼ全員が積極的に参加している。

【地区概要】

- ・取組面積11.46ha
（田10.61ha、畑0.85ha）
- ・資源量 開水路3.2km、農道2.6km
- ・主な構成員 農業者、土地改良区

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- ほ場は、昭和初期の耕地整備により、ある程度の集団化された農地を形成。
- しかし、近年、農業者の高齢化、農業の担い手が不足し、営農に支障をきたしつつある。



永塚地域の農地

取組内容

- 農道の簡易補修作業を実施



- 農道・水路沿いの草刈、清掃活動を実施



取組の効果

- 地域ぐるみで本事業に取り組むため、酒匂川左岸土地改良区が事務局として、活動組織の設立に協力した。
- 共同活動には構成員のほぼ全員が参加するようになるなど、活動が地域に浸透しつつある。
- 農協が指導する農作業の受委託制度等も活用し、担い手への農地の集積が進むよう維持管理を地域で取り組めるようになった。



農道・農業用施設の点検結果の報告と作業前の話し合い